

## 「保健医療科学」 第 57 巻 第 1 号 予告

### 特集：特定健診・保健指導の始動（仮題）

今後の生活習慣病対策と特定健診・保健指導（仮題） .....	山本英紀
特定健診・保健指導における保健師の役割（仮題） .....	勝又浜子
特定健診・保健指導の参酌基準と後期高齢者支援金 .....	東史人
地域における特定健診・保健指導の進め方 .....	福田吉治, 今井博久
職域における特定健診・保健指導の進め方 .....	松田晋哉
ドイツにおける疾病管理プログラム .....	松本勝明
アメリカにおける疾病管理プログラム .....	今井博久

## 編 集 後 記

今号の特集は「電磁界と健康」で、取りまとめ役の大久保先生が科学院の生活環境部長を務められていた頃に企画された労作です。

人間という生き物は、言語を駆使できるため、本来は連続的であるものを二分化して概念化（言語化）する傾向にあるのだそうです（2008/1/28日本疫学会の特別講演：早稲田大・池田清彦教授）。本特集のキーワードである「リスク」などは、まさにそうであり、「危険か／安全か」という二分的な思考法に陥りやすい面があります。しかしながら、二分的な思考・書き方は「わかりやすさ」の点では明らかに優位であり、世間的には主流です。ときには混乱に拍車をかけてしまうこともあります（近年のマスコミ論調は、リスクの問題に限らず、その傾向が強まっているようですが…）。さらに言えば、「安全⇒危険性はない」という実証が難しく多大な労力を要する点も、厄介なところですが、そもそも「〇〇はない」という証明自体が、論文検索の例などを持ち出すまでもなく困難な作業であり、今回の特集を読み、改めて痛感したところです。

リスクの問題は、我々保健医療に携わる人間にとって重要であることは論を待ちませんが、かように厄介な側面も有する代物である点も否定しようのない真実といえます。その意味で、本特集は、リスクというものを掘り下げて考えるには良い素材であるとともに、一生活者としても身近な内容といえますので、ぜひ御一読いただきたいと思います。

（安藤雄一）

---

### 「保健医療科学」査読者一覧

2002年4月—2007年12月

ご多忙のところ査読頂き誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

池田耕一, 石井敏弘, 石川雅彦, 岩永俊博, 上畑鉄之丞, 緒方裕光, 岡本悦司  
 寛淳夫, 加藤則子, 川南勝彦, 児玉知子, 小山秀夫, 近藤克則  
 佐藤加代子, 杉江拓也, 杉山英男, 笠島茂, 曾根智史  
 瀧本秀美, 武村真治, 橘とも子, 田中哲郎, 谷畑健生, 種田憲一郎, 土井由利子  
 中板育美, 畑栄一, 兵井伸行, 平野かよ子, 福田吉治  
 松田智大, 三砂ちづる, 水嶋春朔, 簗輪眞澄, 望月友美子  
 山岡和枝, 山口一郎, 山田和子, 横山徹爾（名前の五十音順, 敬称略）

## 「保健医療科学」 投稿規程

### 1. 投稿論文

公衆衛生および社会福祉の向上，普及に資する研究，および活動報告とし，「保健医療科学」編集委員会が掲載内容を決定する（掲載は無料）。ただし，他誌に発表（予定も含む）された論文は掲載しない。

### 2. 種類，内容及び制限項数

論壇（Commentaries）

：公衆衛生および社会福祉の活動，政策，動向などについての提案，提言 [5頁以内]

総説（Reviews）

：研究・調査論文の総括及び解説 [12頁以内]

原著（Original Articles）

：独創的な研究にもとづく新知見を含む論文 [10頁以内]

ノート（Notes）

：原著に比べて簡単に若干の新知見を含むもの [5頁以内]

資料（Research Data）

：調査または統計などをまとめたもの [8頁以内]

現場報告（News from the Field）

：国内外の公衆衛生および社会福祉に関する実践，教育，研究などの報告 [5頁以内]

レター（Letters）

：掲載論文に対する意見など [1頁以内]

書評（Book Reviews）

：公衆衛生および社会福祉に関する図書などの紹介 [1頁以内]

\*なお，刷り上り1項は2,600字相当

### 3. 発行頻度

年4回発行し，4号分をもって1巻とする。また必要に応じて補冊（Supplement）を発行する。

### 4. 投稿方法

「投稿申込書」（様式1）を添えて，原本ならびに明瞭なコピーを2部提出する。なお，原図，写真などは汚損を避けるため別にコピー2部を提出する。

なお，執筆要領については別に定める。

### 5. 原稿採否

投稿論文の採否は，複数の専門家による査読の結果に基づき，編集委員会にて決定する。

### 6. 別刷り

50部までは無料。51部以上は著者負担とする。また掲載誌1部を贈呈する。

### 7. 校正

著者校正は初校までとし，脱落，誤植などの校正とする。原文および図表等の大幅な訂正などは認めない。

### 8. 出版権

本誌の出版権は本院に属する。なお，他誌などにその全部または一部を使用する場合は本編集委員会の同意を必要とする。

### 9. 投稿先

「保健医療科学」編集委員会

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6

TEL. 048-458-6209 FAX. 048-469-0326

(平成17年2月3日)

# 保健医療科学 第56巻 第4号

## 編集委員

土井徹	(編集委員長・研究情報センター)
浅見真理	(水道工学部)
安藤雄一	(口腔保健部)
磯野威	(研究情報センター)
今井博久	(疫学部)
ジョージ・ローラー	(公衆衛生政策部)
武村真治	(公衆衛生政策部)
種田憲一郎	(政策科学部)
橘とも子	(人材育成部)
星佳芳	(研究情報センター)
山岡和枝	(技術評価部)
泉峰子	(事務局・研究情報センター)

この刊行物に関する問い合わせは下記宛に願います

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6 国立保健医療科学院 研究情報センター内「保健医療科学」編集委員会  
tel : 048 (458) 6209 fax : 048 (469) 0326 e-mail : isono@niph.go.jp

## Journal of the National Institute of Public Health (Hoken Iryo Kagaku) Vol.56 No.4 2007

### Editorial Board

Toru DOI	(Managing Editor, Center for Information Research and Library)
Mari ASAMI	(Department of Water Supply Engineering)
Yuichi ANDO	(Department of Oral and Dental Health)
Takeshi ISONO	(Center for Information Research and Library)
Hirohisa IMAI	(Department of Epidemiology)
George LAWLOR	(Department of Public Health Administration and Policy)
Shinji TAKEMURA	(Department of Public Health Administration and Policy)
Kenichiro TANEDA	(Department of Policy Sciences)
Tomoko TACHIBANA	(Department of Human Resources Development)
Keika HOSHI	(Center for Information Research and Library)
Kazue YAMAOKA	(Department of Technology Assessment and Biostatistics)
Mineko IZUMI	(Editorial Office, Center for Information Research and Library)

## 保健医療科学 季刊(年4回)

第56巻 第4号 2007年12月

発行所 国立保健医療科学院  
〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6  
tel. 048 (458) 6111 (代表)

印刷所 株式会社コムラ  
〒501-2517 岐阜市三輪プリントピア3  
tel. 058 (229) 5858 (代表)

All communications relating to this publication should be addressed to the Editorial Office of Journal of the National Institute of Public Health, Center for Information Research and Library of the National Institute of Public Health, 2-3-6, Minami, Wako, Saitama-ken, 351-0197, Japan.